毛呂山町マスコットキャラクター「もろ丸くん」着ぐるみ装着要領

１：事前確認

□ 装演者１人、アテンダント（随行補助者）１人を最小限の人員とする。

□ 幼児が集まるイベントはアテンダントを２人以上が望ましい。

□ 装演者とアテンダントは着ぐるみ装着要領を熟知しておく。

□ イベントなどの演出、進行等について十分に打ち合わせを行う。

□ 関係者以外立ち入り禁止、外から見えない控え室を確保する。

□ 控え室は搬入、着替え、装着後の出入りができることを確認する。

□ 着替え場所は清潔な場所にシートなどを敷き、着ぐるみを直接地面に置かない。

２：運搬

□ 運搬時は２人以上の人員を確保し、慎重に取り扱う。

□ 搬入・搬出に当たり、着ぐるみであることがわからないようにする。

□ 移動の際は着ぐるみに積み重ねないで運べる車両を用意する。

□ ボディが外部のものとこすれ合わないようにする。

３：着ぐるみの説明

・ヘッド袋：

①頭部　　　　　　　　　　　　　　 　　 ②たすき

・ボディ袋：

③アームカバー ④手袋

　 

⑤弓矢



・シューズ袋：

⑥靴



※土踏まずの部分が内側になるようお履きください。(画像は右足)



取り扱い ●火気厳禁

●雨天時の屋外使用厳禁

４：着替え

別紙参照

※必ず頭にタオル・手ぬぐい・バンダナ等を巻くこと

※着用前に、必ず長袖Ｔシャツ、薄手の長ズボン、綿靴下等の服装を着用すること

５：装演者について

装演者は身長160センチメートル前後が望ましい。

■服装

□ 頭には必ずタオル、手ぬぐい、バンダナなどをまく。

□ 内部は高温多湿のうえ、上下スーツを重ね着するため、体に密着した服装を着用

する。例：長袖Ｔシャツ、薄手の長ズボン、綿靴下。

□ 衛生面を考慮し、素足でシューズを着用しない。

□ 肌が直接胴体部分に触れないように心がける。

□ 裸眼かコンタクトとし、眼鏡の場合は曇り止め、眼鏡バンドを装着する。

□ アクセサリーは外し、化粧は落とす。

■装演

□ １回の装演時間は30分以内とし、必ず休憩を取る。

□ 行事が長時間に及ぶ場合は装演者を複数体制とし順次交替する。

□ 睡眠不足・二日酔いは厳禁とし、体調の悪いときは交替する。

６：装演者の注意事項

□ 装着前に必ず適度な準備運動をする。

□ 視界および動作を確認し、周囲への注意を怠らないようにする。

□ お客様がいるところ、見ているところでは着ぐるみの着脱は行わない。

□ 演技中は声を発しない。

□ 30分ごとの休憩を基本とし、無理・無茶な行動はしない。

□ 炎天下での装演は時間を調節し、必ず水分補給を行う。

□ 緊急の場合に備え、アテンダントへのサイン等を決めておく。

□ 乱暴な行為を受けた際もアテンダントへのサインで対処する。

□ 着ぐるみ装着時は休憩中であっても喫煙は厳禁。

□ 燃えやすい材質のため火気には絶対近寄らない。

□ 靴の幅を意識し、足を肩幅程度に開き、すらないように持ち上げて歩く。

□ 自分の下、死角に子どもがいないか注意する。

□ 絶対に走らない、階段を通行しない（事故、けが、破損につながる）。

□ 演技は大きな動きを心がける。

□ 必ずアテンダントの指示に従う。

□ キャラクターのイメージを損なわないようにする。

７：アテンダントの注意事項

□ アテンダントは必ず１人以上つけ、常に周囲に注意を払う。

□ 装着後に装着の状況、破損・汚れの有無をチェックする。

□ 装演者を呼ぶときは「もろ丸くん」といい、無駄な話をしない。

□ もろ丸くんとは並列の位置にいて、もろ丸くん目線で対応できる距離を保つ。

□ 装演者は視界が限られるため、絶えず周囲に気を配り、状況を知らせる。

□ 歩いて移動する際は、手を繋いで誘導する。

□ 交流のため積極的にゲストに語りかける。

□ 移動や上演時の補助、握手や写真撮影の際の整理を行う。

□ 出演時間・進行管理をしっかり行う。

□ 着ぐるみに危害を加えるお客様にはハッキリとやさしく注意する。

８：収納

□ 消臭・殺菌スプレー（ファブリーズ等）する。※無香のもの

□ シューズ底の汚れを拭き取り、収納袋に収納する。

□ それぞれの収納袋に収納する。

□ 丁寧に収納、運搬を心がけ、転がしたり引きずったりしない。

９：トラブル

□ 汚れたり、破損したりした場合は使用を中止する。

□ トラブルがあった場合は産業振興課・商工観光係に連絡する。

１０：返却

□ 返却にあたり、使用後の状況を職員とともに確認する。

□ 様式第４号「使用完了報告書」を撮影した写真等とともに提出する。